



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6県(長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県)でケンサキイカ(地方名:マイカ、シロイカ)の情報(各地の漁況と底層水温)を共同発行しましたので、お知らせします。

I. 7月のイカ釣り漁況

① 各県の主要漁港における7月の水揚量について(平年は直近の過去5年平均)。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年並みで、平年を下回りました(前年比98%、平年比65%)。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比80%、平年比55%)。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年、平年を上回りました(前年比111%、平年比132%)。
福岡県	代表港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比59%、平年比56%)。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比55%、平年比65%)。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比32%、平年比34%)。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

② 各県の「1日1隻当たりの漁獲量(CPUE)の月別動向」と「7月の漁獲サイズ」について

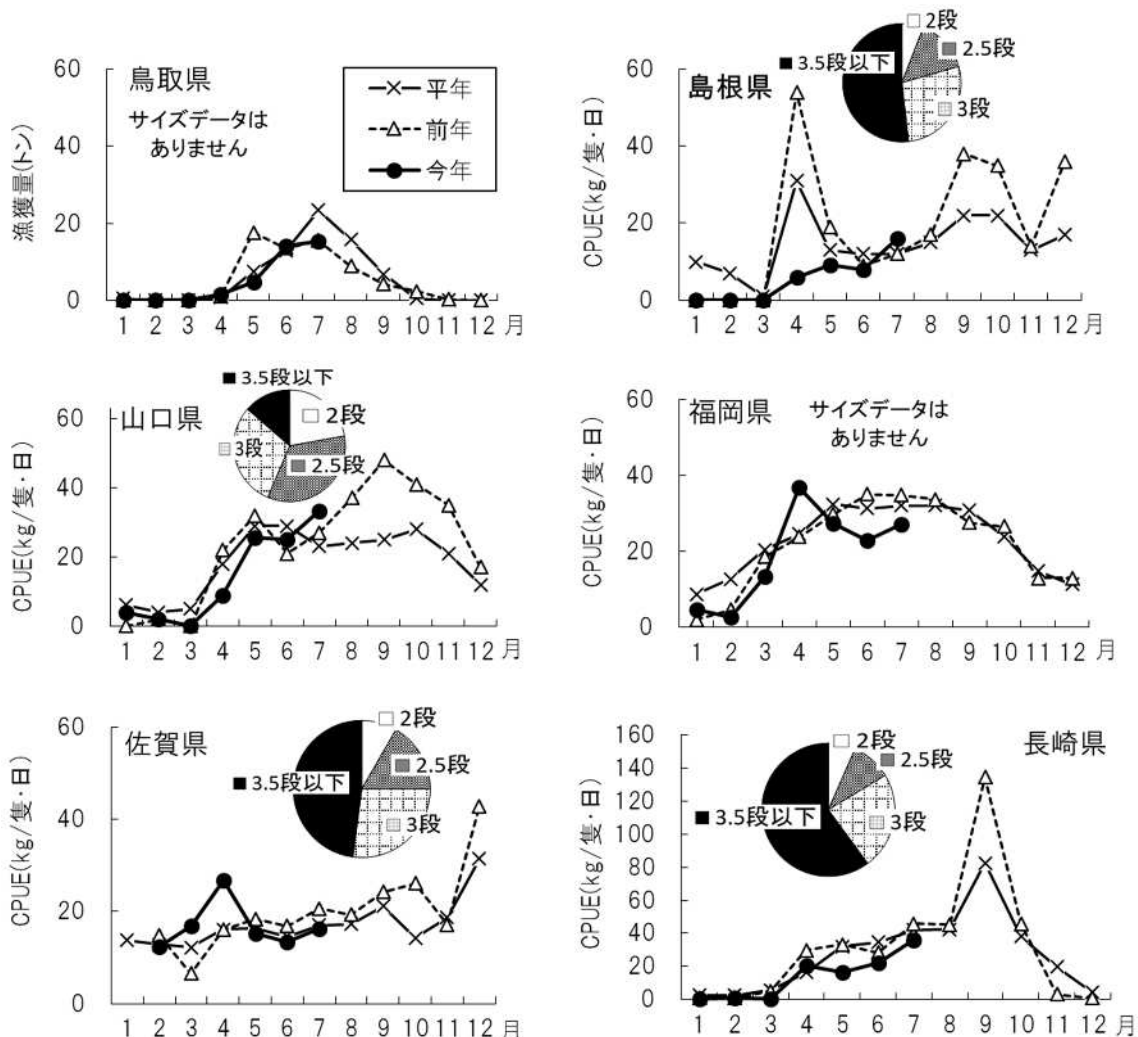


図1 各県のCPUE(折れ線グラフ)および漁獲サイズの割合(円グラフ)
※鳥取県のみ漁獲量で表示

Ⅱ. 8月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 28～201m）の底層水温は 2.81～27.9℃でした。
島根県	陸棚上（水深 84～197 m）の底層水温は 2.6～19.2℃でした。
山口県	陸棚上（69～138m）の底層水温は 7.1～20.4℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 16.7～17.4℃で、沿岸寄りはかなり低め、それ以外では平年並み～やや高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 20.8～23.5℃で、平年値と比べ-2.3～+0.3℃でした。対馬東水道は水温データがありません。
長崎県	五島西沖の底層水温は 16-19℃台で推移しました。

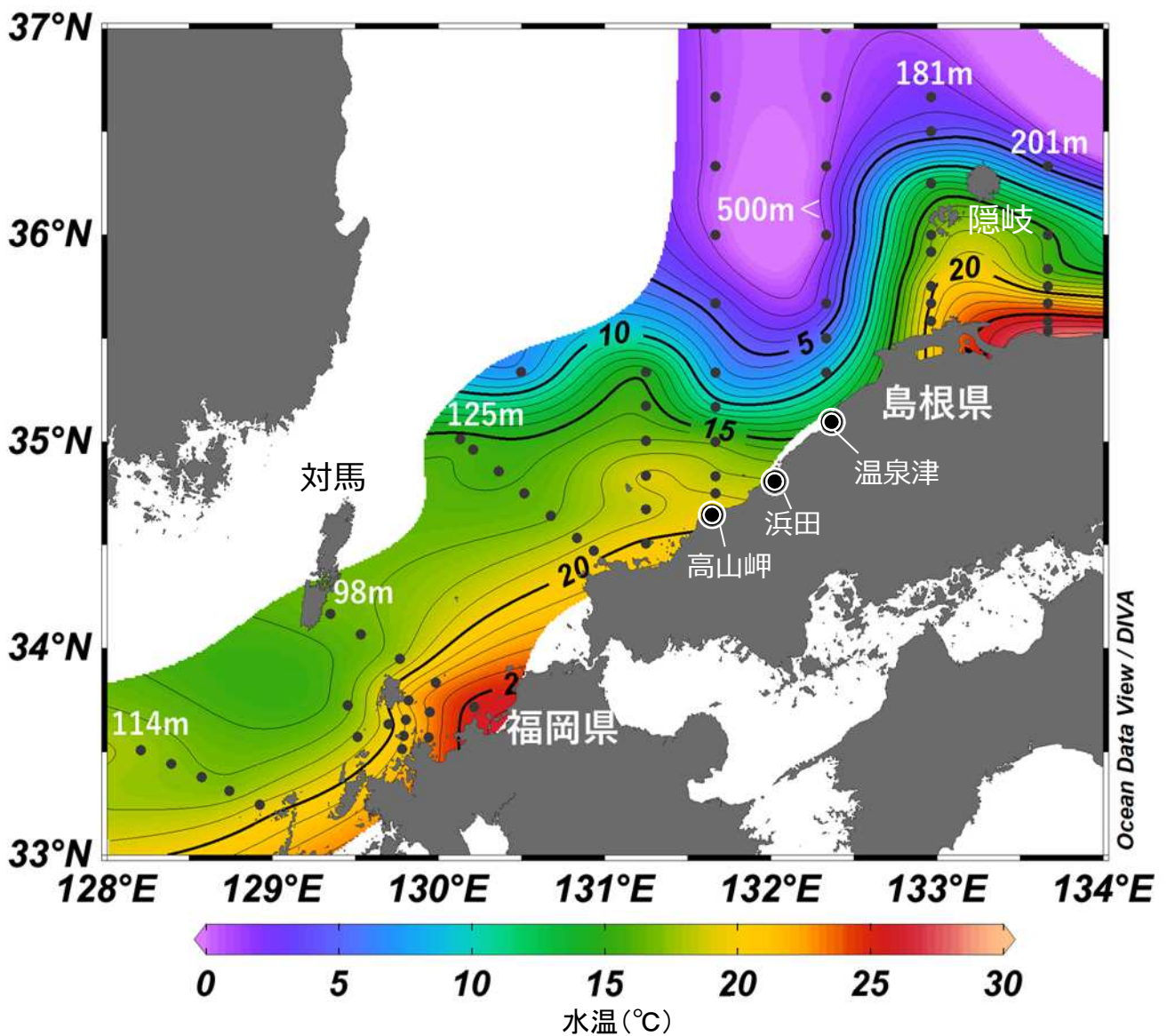


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の丸（●）は観測点を、数字は白字が水深、黒字が水温をそれぞれ示しています。
 ※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。